

久我山会

國學院大學久我山
中学高等学校同窓会

☎ 168-0082 東京都杉
並区久我山1の9の1
☎ 03(3334)1151(代)



會報

會員 38324名

発行責任者

上 脇 辰 三

編集責任者

吉 村 透



不易流行

久我山会会長
上 脇 辰 三

新年おめでとございます。ご家族の皆様とともに、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
ここ数年は同窓会活動もコロナ禍でままならない時を過ごし、まいりました。今年あたりは同窓生の皆さんがいろいろな場面において対面で会合を開いてお会いすることができるようになることを心より願っております。仲間に出会うことができない日々が続くと、人とのつながりの大切さを切に感じる今日この頃です。

様々な技術革新が我々の日々の生活に大きな影響を与えているのも事実です。
また、技術革新の変化の途上にあるのが、自動車業界の電動化で、この100年間ガソリンエンジンで発展してきたものから、技術の根幹が変わるといいます。イノベーション(革新的イノベーション)が起こっている業界では、いち早く変化への対応が必要ということになります。
さて、今年には久我山創立八十年となる、一つの区切りの年となります。同窓会もこのタイミングで、会員の多様性への対応などのためにも役員の若返りやその組織改革にとり組んでいます。
今後数年で更に世の中の変化に対応していく強い組織へと変わっていきます。

今年の新年会は、一月十四日 日曜日午後一時から、昨年から会場を変えて、明治記念館で開催いたします。広い会場でのゆったり談笑できるようにいたしましたので、どうぞみなさん奮ってご参加ください。楽しいひと時をお過ごしください。
母校の更なる発展と同窓生のみなさんの飛躍を願い、幸多き年となりますことを心より祈念申し上げます。

陸上競技部(男子) 一年ぶり25回目の駅伝全国大会出場 都大路を駆け抜ける

母校
國清英明校長 法人理事に就任
笠井誠司先生(国語科)
三戸治彦先生(数学科)
教頭に就任

久我山会
八代記子氏(女子1期)
須藤大輔氏(40期)
副会長に就任

- 久我山会ホームページ 令和5年のトピックス
- 1/4 新年おめでとございます。学校長・会長の新年挨拶
 - 1/16 久我山会新春恒例「新年交歓パーティー」3年ぶりの開催!
 - 1/20 「72期久我山人の会」に250名超が盛大に集う!
 - 3/1 74期生410名の皆さん、卒業おめでとっ!
 - 4/3 國學院栃木の校長に貫島範朗先生(久我山29期)が就任
 - 4/10 國清英明校長が学校法人國學院大學理事に就任
 - 4/24 久我山会HPのトップページをリニューアル!
 - 6/5 代議員会を3年ぶりに対面開催。議案は原案通り承認
 - 6/7 久我山会、令和5年度会長・副会長を紹介!します。
 - 6/19 OB・OG共演の音楽部定期演奏会へのお誘い!
 - 7/3 母校音楽部第46回定期演奏会のご報告
 - 7/3 久我山医会を4年ぶりに開催!
 - 7/10 インターハイ出場の上野部・サッカー部へのご支援を!
 - 8/7 インターハイ出場の母校部活動へのご支援に御礼!
 - 8/7 神職関係同窓会を4年ぶり開催
 - 9/1 「久我山会×ルマカ」登録受付中
 - 10/2 國學院大學政経学部・経済学部卒業の皆さまへ
 - 11/6 母校陸上部・男子駅伝 都大会で優勝 2年ぶり捲土重来果たす!
 - 11/13 駅伝全国大会出場の上野部に応援メッセージのご支援を!
 - 11/14 今年も開催「2023久我山中学校一期生同期会」
 - 11/20 【予告】新年交歓パーティーは、来春1月14日(日)開催 (日付は掲載日)

同窓会久我山会の皆様、あけましておめでとうございます。ご家族の皆様とともに、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症も5類感染症に位置付けられ、学校生活もコロナ禍前に近づいてきましたが、生徒の中にはまだまだマスクを外せない生徒もいます。

2学期が始まり、3班集体制での8月下旬からの中学2年生の自然体験教室(赤城山・奥白根登山、尾瀬ヶ原ハイキング)が行われ、無事終了しました。しかし、多くのものが緩和された夏休みを経て、学内でも新型コロナウイルス感染症の拡がりが見著らなりました。そのような状況の中、今度は季節外れのインフルエンザの流行です。今年の冬の流行に備えて10月にも予防接種を行うべく、教職員に加え、高等学校3年生にも範囲を広げて希望を取ろうと、要綱を配信した矢先、校内での大流行が起きてしまいました。他の学校も例外ではなく、学級閉鎖を余儀なくされています。本校は、学級閉鎖でも学びを止めず、オンライン授業に切り替えることで乗り切りました。勿論、インフルエンザに感染している生徒は出校停止扱いになるのですが、健全な生徒

については、オンライン授業への参加をもって出席扱いとしています。通常、クラス内に1、2名の感染者が出て、出校停止になりました。その生徒に合

令和六年の年頭にあたり

校長 菅 英明
 学長 山名 久我
 校母 山名 久我

明 英 清 國



わせて授業進度を遅らせることはしません。それらも考慮しての措置です。現在までで、延べ5クラスをオンライン授業に切り替えました。その影響で中学

体育祭を11月上旬に延期するに至りました。

ところで、このインフルエンザ禍で困ったのは、教職員の感染です。私が久我山に奉職して以来、これだけ多くの先生方が感染したのは初めての事です。実に同時期に15名の教職員が罹患しました。「多くの教職員が罹患したので、休校にいたします」とはいきません。罹患されてない先生方の頑張り、何とか乗り切ることが出来ました。先生方には、感謝、感謝です。

さらにインフルエンザ禍は続きます。今、この原稿を書いている時点での悩みは、10月下旬に予定されている久我山祭を当初の予定通り、一般公開するかどうかです。9月から10月上旬に文化祭を行った学校の多くで、実施後の新型コロナウイルスかインフルエンザの感染拡大による学級閉鎖が起こっていること。オンライン授業に切り替えていながら、部活動は通常通り実施は、本校の教育の方針にそぐわないものです。11月上旬に、高等学校の冬の全国大会を掛けた大切な試合を控えている

いくつかの部会があるだけに悩ましいところです。

さて、海外からの旅行者の多さを見ると、世の中はほぼ以前のような日常に戻ってきている

ようです。蕉風俳諧の世界で不易流行という言葉がありますが、コロナ禍以前に戻るだけではなく、新しい方向性を探る動きもあります。女子部においてはCクラスの募集に合わせて、希望制による語学研修を含めた修学旅行の選択が可能になっています。「日本文化探究コース」「日本文化発信コース」の2つのコース立てになっています。これを男子部にもという新たな取り組みがスタートします。令和7年度の高専学校の修学旅行から、これまでの九州方面の修学旅行に加えて、オーストラリアでのファームステイと地元校生徒との交流をメインとしたプログラムを導入します。

これからも久我山は、学習と部活動について「文武一徳」という理念に因って、指導に当たってまいります。心と身体を鍛え、主体的な自立を果たせるようにと願う気持ちは、変わる事のない大きな目標です。

学校という組織にとって「変化」はなかなか受け入れがたいものです。そのことを認識しつつ、社会の変化に柔軟に対応できるように、日々研鑽に努めることが、私たち教職員に課せられた課題です。今後とも卒業生諸氏のご助言、ご鞭撻をお願いいたします。

《母校歴代学校長》

- | | | | |
|------|-------|----|----------|
| 初代 | 服部 教一 | 先生 | (昭和18年～) |
| 第2代 | 落合 盛吉 | 先生 | (昭和19年～) |
| 第3代 | 佐々木 幹 | 先生 | (昭和24年～) |
| 第4代 | 佐藤 周二 | 先生 | (昭和24年～) |
| 第5代 | 藤本 雄 | 先生 | (昭和63年～) |
| 第6代 | 小林 實 | 先生 | (平成6年～) |
| 第7代 | 小勝 三喜 | 先生 | (平成8年～) |
| 第8代 | 川福 基 | 先生 | (平成11年～) |
| 第9代 | 岡部 定 | 先生 | (平成21年～) |
| 第10代 | 今井 寛 | 先生 | (平成25年～) |
| 第11代 | 國清 英 | 先生 | (平成31年～) |

【國清英明校長ご紹介】



昭和30年・広島県生まれ。東京理科大学卒。昭和54年、数学科教諭として奉職。以後、教務主任、学科主任、将来構想推進委員会委員長、入試対策部長、学習システム部長、教務部長、教頭等を歴任。平成28年より副校長を務めた。平成31年4月、第11代校長に、また同年から久我山会名誉会長となる。令和5年4月より法人理事に就任された。趣味は映画鑑賞。座右の銘は「人間万事塞翁が馬」。

先生方ご紹介

●名譽校長 ●川福基之先生

(学校法人國學院大學栃木学園 理事長)



●副校長 ●高橋秀明先生



(32期)

昭和60年、地歴公民科教諭として奉職。平成31年、副校長に就任。

●教頭 ●笠井誠司先生



(31期)

昭和59年、国語科教諭として奉職。令和5年、教頭に就任。

●教頭 ●三戸治彦先生



昭和60年、数学科教諭として奉職。令和5年、教頭に就任。

今年度母校に奉職しました



保健体育科 (61期) 相場 祐人

今年度より保健体育科の講師として奉職しております。母校で働くことは、自分自身では予想外の出来事でしたが、人として成長させて頂いた母校に恩返しができることを非常に嬉しく思います。高校時代は、陸上競技部(長距離)に所属し、主将としてチームをまとめ、全国高校駅伝出場が一番の思い出です。幸せなことに、大学、社会人と陸上競技を続けることができ、自動車関連の企業に勤めておりました。久我山高校では、学生当時から現在への約15年での変化を肌で感じながら、日々指導しております。また、陸上競技部の監督を務めさせて頂き、大学、社会人時代の経験を活かし、生徒とコミュニケーションをとりながら全国高校駅伝出場に向けて取り組んでおります。母校の一員となり、生徒の成長や目標達成の為に、私自身も覚悟を持って従事していきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

母校奉職OB・OG紹介

母校及び附属幼稚園では、34名のOB・OG教職員が奉職されています。※数字は卒期

国語科

笠井誠司(31)「教頭」

山路伸一(30)・時崎一男(32)

山本則之(33)・清水敦子(女)(安)

長山桂安(女)・柳井愛梨彩(61)

菅谷祐太(70)

社会科

高橋秀明(32)「副校長」

高良武士(31)・中村友子(女)(安)

渡邊真人(55)・福田沙羅(56)

三浦千春(31)・山田 諭(48)

理科

福田訓久(45)・近藤秀幸(54)

井上俊之(63)

保健体育科

竹内伸光(29)・土屋謙太郎(31)

中野真未子(女)(6)・神名茂樹(49)

酒井良幸(50)・川崎貴之(51)

尾崎直輝(60)・相場祐人(61)

英語科

阿久津拓生(38)・宮原直央(67)

養護

宮口明日香(59)

◆附属幼稚園 中村幸穂(女)(8)

事務室

笹田信一(35)「事務長」

宮村千春(29)・田中品男(29)

本間彩花(56) ※益々の活躍を祈念いたします。

第74期生です。よろしくお願ひします。



鈴木 航生 学習院大学1年 文学部



秦 三幸 杏林大学1年 保健学部

久我山での経験は私の財産となりました。卒業後、思い返す機会が多々あります。人生の試練や喜び、成長と挫折、そして多くの思い出が私を形作ってきました。振り返ると、高校時代は無邪気で純粋な友情と、未来への希望に満ちた時期でした。母校で仲間たちと過ごした日々は私の人生にとって宝物です。現在、私は学習院大学と新たな環境に身を置き、学習・発達・認知といった心理学をメインに勉学に励んでいます。また、所属していた野球部の学生コーチとして尾崎監督のもと甲子園を目標に指導しております。選手から指導者と立場が変わることにより、野球というチームスポーツに対しての視野が広がり、面白さや難しさを経験しているところではあります。選手時代に甲子園で経験したことを後輩たちへ引き継いでいきたいと考えております。久我山卒業生としての誇りと感謝を忘れずに精進してまいります。

久我山を卒業して8ヶ月、月日が経つのが速く感じます。ここで過ごした6年間を思い返すと、環境と仲間にもまれていたと改めて実感いたします。バドミントン部の先生、担任の先生など多くの先生方をはじめ、共に過ごした同級生のおかげで学業面だけでなく人間としても成長することができました。特に高校3年の年では同級生に精神的に支えられていたと思えます。その仲間と受験という大きな壁を乗り越えたことは今の自分の自信に繋がっております。

現在、私は杏林大学保健学部臨床検査技術学科に通っており、日々解剖学や生理検査学、免疫学など専門的な知識を学んでいます。また、最近顕微鏡を用いて染色された細胞の観察や解剖見学実習などがあり、将来の夢に向けて、必要な知識を身につけていきます。

第74期久我山卒業生としての誇りを胸に周囲への感謝を忘れず精進してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

親子二代 久我山下学ぶ



Question

- ① (親) お子様に入久我山に入ることを薦めましたか? どんな理由で?
- ② (親) 久我山に合格したとき、ご両親はなんと言いましたか?
- ③ (親) 久我山時代の象徴的な出来事、エピソードをお聞かせください。
- ④ (親) 久我山入学以来、一番楽しかったこと、印象に残ったことは?
- ⑤ (親) 久我山として、お子様にどんな久我山時代を過ごして欲しいですか?
- ⑥ (親) 久我山の先輩として、お子様にどんな久我山時代を過ごして欲しいですか? あなたが久我山でやりたいこと(クラブ活動・趣味・勉強など何でも)は?

渡邊 信宏 さん(37期)
大和証券㈱決済部次長

渡邊 大斗 さん
(高校1年)

①《父》入学を薦めた理由は?

私自身も、バスケットボール部に所属して3年間過ごし、その後も大学、社会人と続けられる基礎を築いてもらえました。

引退後も、外部コーチとして6年間、チームのお手伝いをさせていただきました。東京の高校で私の卒業以降も上位の成績を残し続けているのは久我山だけです。バスケットボールも勉強も頑張れる久我山は誇れる母校として息子には薦めました。

②《子》合格時の親の反応は?
これから、部活も勉強も大変だけど頑張れと言われました。

③《父》久我山時代の思い出は?
部活で春の選抜(当時)とインターハイの両方の全国大会に出場できたことが一番の思い出です。他校に比べて、かなり短い

練習時間のなか、当時の手塚先生、今ではあり得ない昭和的なご指導のおかげで、技術的にも精神的にもみんな鍛えられていたと思います。今でもOBが集まると誰が一番ご指導を受けたかで盛り上がります。

④《子》学校での楽しいことは?
日々の部活の練習で、自分が鍛えられていることが実感でき、いい先輩や同期と楽しく部活がやれていることです。



⑤《父》子に望む学校生活は?
部活と勉強の両立は大変だと思いますが、部活では日々の練習で個人のスキルアップをして、チームプレーを学び3年生の時

にはチームに貢献できるように頑張ってください。人生を振り返った時に、いい思い出となるように、チームメイトやクラスメイトとは生涯付き合えるような関係を築いて欲しいです。

⑥《子》今後やりたいことは?
部活では、シュート練習をたくさんして、早く自分のプレースタイルを確立したいです。その結果、試合に出てチームの全国大会出場に貢献したいです。勉強では定期テストだけでなく日々の小テストも含めて地道に頑張りたいです。

西村 賢 さん(46期)
公立工業高校教員

西村 晨 さん
(中学1年)

①《父》入学を薦めた理由は?
勉強とラグビーの両立ができる中高一貫校を探している中で、久我山が一番良いと思っていたので、息子に薦めました。高いレベルのラグビーで自己を高め

て欲しいと薦めました。

②《子》合格時の親の反応は?
合格したと分かった瞬間、両親共に大変喜んでくれました。僕自身が久我山を希望したことが、受験して合格できたことが本当に嬉しかったです。



③《父》久我山時代の思い出は?
私の高校時代は、野球部に所属していましたが、学業成績もイマイチ、野球部でも補欠でした。そんな中、野球部では公式試合で得点すると『久我山讃歌』を控え選手みんなで肩を組んで歌います。何とも誇り高き瞬間で、印象的でした。今でも、その姿を見ると鳥肌が立ちます。

④《子》学校での楽しいことは?
5月の自然体験教室が印象に残っています。都外の小学校出身のために、他のクラスの人も話す機会が、今後の学校生活での不安が減りました。また、大縄跳びでは、息を合わせて、記録こそ振るわなかったが、絆を深める体験ができました。

⑤《父》子に望む学校生活は?
久我山は、自分より勉強ができる友達やラグビーが上手な友達、人間的に素晴らしい友達が多くいます。そんな仲間と囲まれた環境は、大いに自らを成長させてくれます。上手いかなく苦しい事も多くあると思いますが、目標を達成するために地道に取り組んで欲しいと思います。最後までやり切る力を身に付けて欲しいです。

⑥《子》今後やりたいことは?
久我山での6年間をラグビー部で頑張りたいです。レギュラーを取れるように日々努力したいです。勉強では、自分が目指している大学に合格できるように、興味ある科目だけでなく、幅広く勉強したいです。



住吉神社

～同窓生を訪ねて～ お宮巡り ウォーク

《シリーズ・第15回》

新春初詣にぜひどうぞ

協力：神職関係同窓会



安江八幡宮

住吉神社は川崎市中原区木月に鎮座し、元々は矢倉明神社と呼ばれており、今も人々の生活をお守りしている。神社の創建年代は詳らかでないが、江戸時代に編纂された新編武蔵風土記稿の木月村の項にその記述を見ることが出来、おおよそ三五〇年以上まで遡る。
明治四十二年に村内鎮座十社を矢倉神社に合祀し、当時の村名をとり、住吉神社と改称した。

●御祭神
誉田別尊・氣長足姫尊
玉依姫尊
●例祭日 (春季・秋季)
四月十五日・九月十五日
金沢駅から程近い安江八幡宮は、県公式キャラクター「ひゃくまんさん」のモデルになった「加賀八幡起上り」で有名な神社です。創建は平安時代・天慶二年(九三九年)で、金沢五社の一つである。五社とは金沢城を囲むように鎮座し、加賀藩前田家の崇敬が厚かった神社です。また相殿として金沢水天宮があり、県内唯一の安産祈願ができることから大勢のご家族が訪れ

●御祭神
大己貴命・天照皇大神
天津児屋根命・他七柱
●例祭日
八月第四土曜日・日曜日
住吉神社は川崎市中原区木月に鎮座し、元々は矢倉明神社と呼ばれており、今も人々の生活をお守りしている。神社の創建年代は詳らかでないが、江戸時代に編纂された新編武蔵風土記稿の木月村の項にその記述を見ることが出来、おおよそ三五〇年以上まで遡る。
明治四十二年に村内鎮座十社を矢倉神社に合祀し、当時の村名をとり、住吉神社と改称した。

代議員会開催
三年ぶりの対面実施



令和5年度 役員・委員

久我山会会計報告

■令和4年度一般会計報告

《収入の部》

Table with financial data for the first part of the 2023 fiscal year report, including items like 前年度繰越金 and 本年度入会金.

《支出の部》

Table with financial data for the second part of the 2023 fiscal year report, including items like 総務費 and 組織費.

■令和4年度賛助会費納入金報告

《収入の部》

Table with financial data for the 2023 fiscal year contribution fee report, including 前年度繰越金 and 本年度納入金.

《支出の部》

Table with financial data for the 2023 fiscal year contribution fee report, including 一般会計へ and 次年度繰越金.

■令和4年度基金報告

Table with financial data for the 2023 fiscal year fund report, including 定期預金 and 一般会計より繰入.

■令和5年度一般会計予算

《収入の部》

Table with financial data for the 2024 fiscal year budget, including 前年度繰越金 and 本年度入会金.

《支出の部》

Table with financial data for the 2024 fiscal year budget, including 総務費 and 組織費.

Vertical banner text: 賛助会費(3千円以上)は毎年ご納入ください。卒業後11年以上(平成24年卒第63期まで)が対象です。同封の振込用紙で郵便局よりお振り込みください。

- List of names and titles for the 2023 fiscal year contribution fee report, starting with [1期] 船越公道 and [2期] 日毛良次.

- List of names and titles for the 2023 fiscal year contribution fee report, starting with [16期] 玉井和男 and [17期] 齊藤洋一.

- List of names and titles for the 2023 fiscal year contribution fee report, starting with [23期] 大江俊郎 and [24期] 杉本唯夫.

- List of names and titles for the 2023 fiscal year contribution fee report, starting with [28期] 小野田陸春 and [29期] 鈴木達也.

- List of names and titles for the 2023 fiscal year contribution fee report, starting with [30期] 宮村千春 and [31期] 土居通明.

新年交歓パーティー

日時 ● 令和6年 1月14日(日)
午後1時～3時

会場 ● 明治記念館・
富士[1]

JR(中央・総武線)
信濃町駅下車徒歩3分
港区元赤坂2-2-23
TEL03-3403-1171(代)

会費 ● 社会人 / 4千円
学 生 / 無 料

* 出席の事前予約は不要です
* 会費は受付でお納めください



久我山会 新年交歓パーティー ご案内



写真は令和5年「新年交歓パーティー」

久我山会の「新年会」は、
昭和37年から開催されている伝統行事です。
久々に会う恩師・先輩・友人・後輩と
旧交を温めにご参加ください。
立食形式の気楽なパーティーです。
友達にも声をかけて一緒にぜひ足を
お運びいただき、新春の会場で
楽しいひと時をお過ごしください。
会員の皆さんをお待ちします。



◀ 令和5年
「新年交歓パーティー」の様子は
こちらからご覧ください。



【久我山会メルマガ】

登録受付中

…
メールアドレスの
登録を
!

久我山会では、

同窓生の皆さんに【久我山会メルマガ】を配信しています。
久我山会や同期会・クラブ等 OBOG 会からのお知らせ、
同窓生の動向、母校及び母校部活動の近況など、
最新のトピックス・ニュースを送信しています。

また、國學院大學及び院友会主催で一般の皆さんが聴講できる
講演会・講座等のご案内や、國學院大學博物館の企画展のご案内等も
お送りします。

皆さんのメールアドレスの登録をお願いします。

詳しい説明はこちらからご覧ください▶
<https://kugayamakai.com/topics/mailmagazine/>

